

令和8年度地域発元気づくり支援金 【南信州地域】35事業を選定しました

「地域発元気づくり支援金交付要綱」に基づき、選定会議構成員の意見を参考に、採択事業を選定しました。

1 概要

- 申請件数 43件 (要望額 1億704万5千円)
- 採択件数 35件 (採択額 7,954万1千円)

2 選定の状況

事業区分別

(単位:千円)

事業区分	内定状況	
	件数	支援額
1 地域協働の推進	3	8,457
2 保健、医療、福祉の充実	2	3,406
3 教育、文化の振興	9	17,918
4 安全・安心な地域づくり	1	3,984
5 環境保全・景観形成	2	6,232
6 産業振興、雇用拡大 (小計)	15	33,334
ア 特色ある観光地づくり	7	16,155
イ 農業の振興と農山村づくり	3	5,418
ウ 森林づくりと林業の振興	1	1,173
エ 商業の振興	1	5,000
オ その他	3	5,588
7 市町村合併に伴う地域の連携の推進	0	0
8 その他地域の元気を生み出す地域づくり	3	6,210
合 計	35	79,541

重点支援対象事業別

(単位:千円)

重点支援対象事業区分	件数	支援額
ユースセンターの設置や活動支援	0	0
女性リーダーの増加・定着	3	7,383
外国人県民の暮らしやすさ	0	0
関係人口の創出拡大	10	22,903
先端技術の活用	1	3,984
小さな拠点の形成	0	0
地域公共交通の維持・確保	1	658
コミュニティビジネス	5	13,294
地域の担い手の確保	0	0
ゼロカーボンの取組	2	6,232
合 計	22	54,454

申請者区分別

(単位:千円)

申請者区分	件数	支援額
市町村	8	19,301
広域連合・一部事務組合	0	0
公共的団体 (地域づくり団体・NPO等)	27	60,240
合 計	35	79,541

3 その他

今回の選定の結果、2次募集は実施しません。



わたしの、私たちの長野県。

150th Anniversary 1876-2026

(問合せ先)
 南信州地域振興局 リニア活用・企画振興課
 (課長) 矢沢 (担当) 伊原、手島
 電話 0265-53-0401 (直通)
 0265-23-1111 (代表) 内線 2285
 F A X 0265-53-0404
 E-mail minamichi-kikaku@pref.nagano.lg.jp

令和8年度 地域発 元気づくり支援金【南信州地域】事業一覧表

単位：千円

番号	申請者	事業名	事業内容 (主な用途、①：ソフト事業、②：ハード事業)	総事業費	要望額	支援金 内定額	重点支援 対象事業 区分別
1	南信州まちづくりフォーラム	女性・若者と創る住みたくなる南信州まちづくり事業	「女性・若者が主役」の視点で地域課題を自分ごととして捉え、対話・学び・協働を通じて次の一歩（連携とプロジェクト化）へつなげることを目的とする。 年間を通じて、女性・若者や住民・学生が参加するセミナー（講演・パネル・ワークショップ）を複数回開催するとともに、小中学生がオンラインで語り合うウェルビーイング・ジュニアサミットを実施する。さらに、セミナー等の成果を広く地域に共有する南信州ウェルビーイング・サミットを開催し、世代や分野を越えて新しい視点とつながりを生み出す。あわせてホームページやSNSで継続的に情報発信し、議論とアイデアを翌年度の具体的プロジェクト案として整理し、学校・企業・行政等との継続的な連携につなげ、参加型・持続可能なまちづくりの土台を築く。 ①勉強会・研修会等運営費、広報費（HP等）	3,894	3,115	3,115	2 女性リーダーの増加・定着のための意識改革や育成
2	下伊那郡西部3か村地域振興協議会	南信州フォレストパーク 地域の魅力発見プロジェクト	阿智村・平谷村・根羽村の3か村が連携し、広域的な農業の魅力発信と次世代への食育を進める事業である。地域農業は担い手不足や消費者との距離の拡大といった課題を抱えており、特に子ども世代が地域農業や地域食材に触れる機会が限られている。本事業では、一流料理人を招いた期間限定レストランイベントを3日間開催し、限定180食を提供する。地域内の子育て世代と地域外来訪者で集客ターゲットを分け、食事とともに食材への想いや背景を伝える機会をつくる。加えて、料理人監修のもと、3村共通のふるさと納税返礼品開発に向けた農業者・加工事業者（OEM）の選定等、次年度の発売を見据えた基盤整備を進め、食育・農業振興・広域ブランド化を同時に推進する。 ①シェフ監修料、敷地使用料、広告費等	3,000	2,400	2,250	
3	うるぎ豆まめ舎実行委員会	まめで元気なうるぎむら～山の神と人の暮らしの魅力発掘～継続発展	売木村の原風景と暮らしの技術を「体験」と「表現」で伝え、交流人口を関係人口へ、関係人口を移住へとつなげる継続発展事業である。 創作物語「草草人」を核とした舞台公演を村外（上田市）で実施し、展示や物産展等を通じて村の暮らしへの関心を広げる。あわせて、不耕起農法による大豆栽培を専門家指導のもと年間で行い、豆腐づくり実習や料理研究、祭事での奉納（油揚げ・演奏）までを一連の体験として展開する。YouTube配信により活動を継続的に発信し、参加者が次の参加につながる受け入れ環境を整え、将来的な豆腐店の担い手確保を目指す。 ①公演委託料、大豆作り講師謝金、大豆作り消耗品、広告費等	3,866	3,092	3,092	4 地域内外の人々の交流拠点の設置・活用や地域の受け入れ環境の向上
4	学校法人高松学園 飯田短期大学	その元気、食で応援します！	飯田市域における運動習慣の希薄化や成長期の怪我、高齢期の転倒リスク等の健康課題に対し、スポーツ活動と食・栄養・怪我予防を一体で支援する取組である。 飯田短期大学がNPO法人とよおか総合型地域スポーツクラブと連携し、中学生向けに競技別ワークショップ（栄養講義、測定、怪我予防の演習、競技力向上プログラム）を実施する。あわせて一般住民向けに、測定・調査・栄養講義と個別相談を組み合わせた健康増進講座を開催し、地域イベントへの出展を通じて健康管理の啓発も行う。 ①講師謝金、イベント用消耗品スポーツ指導・実技演習用資材、口腔機能測定器等 ②フードモデル（スポーツ栄養バイキングモデル）	710	513	513	
5	まつかわ森林セラピーの会	森林とサウナ浴の調律リトリート体験	松川町の森林資源と宿泊・温泉等を活用し、森林セラピーとサウナ浴を組み合わせた滞在型リトリート体験を開発・実施する事業である。 都市部の若者を主な対象に、森林セラピー、サウナ浴、ヨガ、地元食材の食体験等と組み合わせ、「温める・緩める・整える」を循環させて心身の回復力を高める2日間プログラムを提供する。あわせて講演会を開催し、町内施設（清流苑・梅松苑）を拠点とした受け入れ環境を整備するほか、ツアー終了後もオンラインでアフターケアを行い、継続的な関係づくりと地域滞在の促進につなげる。 ①講演会講師謝金、ツーリズムHP作成費、チラシ等広報費、会場費、消耗品費等 ②エアリアルヨガスタンド・ハンモック購入費	3,761	2,893	2,893	4 地域内外の人々の交流拠点の設置・活用や地域の受け入れ環境の向上
6	飯田市	高校生と地域をダイレクトにつなぐ未来の羅針盤構築事業(仮称:いいだみらいコンパス)	高校生向けの講座・探究学習・ボランティア・企業情報など、地域に点在する支援機会が「届きにくい」課題を解消するため、Webサイトを中核にSNSと連携した情報発信基盤「(仮称)いいだみらいコンパス」を構築する。 各種情報をデータベース化して検索できるようにし、企業情報は既存サイト「イイダカインチャナビ」と連携して発信する。あわせて、活動実績を可視化するデジタルバッジ（オンライン修了証）の発行や、SNS連携によるプッシュ型の情報配信を行い、高校生がスマホで必要な情報にアクセスできる環境を整える。飯田職業安定協会、飯田信用金庫、下伊那高等学校長会など関係者と連携して運用体制を構築し、卒業後も地域とつながる仕組みづくりにつなげる。 ①(仮称)いいだみらいコンパスシステム構築費	7,348	5,000	5,000	
7	南信州民俗芸能継承推進協議会	南信州の民俗芸能による関係人口の創出拡大事業	南信州地域の民俗芸能を、地域内外の人が「観覧・参加・応援」しやすい形に整え、担い手の誇りと継承の輪を広げることで、関係人口の創出・拡大につなげる事業である。 令和8年度は、観覧時のマナーや参加方法、上演依頼の目安等を整理した「民俗芸能の教科書(仮称)」作成に向け、保存団体への追加調査と掲載内容・題名の検討を進め、令和9年度の公開に備える。あわせて、若者が多く集まるイベントへの出展（ワークショップ・実演体験）や、パートナー企業向けの勉強会・意見交換会を実施し、地域外からの関心と参画の入口を増やす。さらに、民俗芸能カレンダー（ポスター型）とスマホ壁紙カレンダーの制作・配信、研究集会やフェスティバルの開催・オンライン配信、パンフレットやノベルティの作成、Web/SNSでの継続発信により、年間を通じて情報が届く仕組みを整える。 ①イベント運営費、イベント出展費、講師等謝金、広報物品作成費等	3,080	2,464	2,464	4 地域内外の人々の交流拠点の設置・活用や地域の受け入れ環境の向上
8	南信州フィルムコミッション設立準備会	南信州ロケ支援・地域活性化プロジェクト	南信州の魅力映像を通じて広く発信し、地域ブランド力と観光振興を高めるため、南信州フィルムコミッションの設立・ロケ受入体制の整備を進める事業である。 令和8年度は、公式ホームページを開設し、過去のロケ実績や撮影候補地をデジタルアーカイブとして一元的に発信することで、制作側が情報収集しやすい環境を整える。あわせて、SBC創立75周年記念映画の制作支援を軸に、市町村・観光団体等と連携し、ロケ地情報の整理とロケ地マップ作成に向けた準備・取材、広報を行う。さらに、住民エキストラの募集・登録体制（令和9年度以降の登録システム運用を見据えた準備）や、制作スタッフと地域住民が交流できるイベントの実施により、地域一体で映像制作を支える受入環境を強化する。拠点（ロケベース）についても、関係者が集い作業・交流できる場所としての活用を見据え、必要な準備を進める。 ①HP作成費、広報物作成費、ロケ地情報整理・取材費	691	553	553	4 地域内外の人々の交流拠点の設置・活用や地域の受け入れ環境の向上
9	代田地区寺子屋運営委員会	郵便ポストの数だけ寺子屋のある街づくり	田地区で15年間継続してきた「寺子屋（子どもの居場所）」の実践を整理・発信し、地域で子どもを見守り支える取組を他地域へも広げることを目的に、①振り返りの場づくり、②普及フォーラムの開催、③記録冊子の作成を一体的に実施する。 「代田地区寺子屋15周年を語る会」を開催し、活動の歩みや成果、課題を地域内外と共有する。また、フォーラム「郵便ポストの数だけ寺子屋（子どもの居場所）のある街づくり」を開催し、行政・教育関係者等も交えて意見交換を行い、寺子屋を新たに立ち上げる際のポイントや工夫を整理する。さらに、これらの内容をまとめた冊子を作成・配布し、他地域での居場所づくりの参考となる実践的なテキストとして活用する。 ①アンケート作成・発送費、講師謝金・交通費、冊子印刷費、冊子郵送料、会場借用費、広報物制作費、消耗品費	765	427	427	

令和8年度 地域発 元気づくり支援金【南信州地域】事業一覧表

単位：千円

番号	申請者	事業名	事業内容 (主な用途、①：ソフト事業、②：ハード事業)	総事業費	要望額	支援金 内定額	重点支援 対象事業 区分別
10	松川町	本州最後の砦を守れ！松川町「アカモズ」と「果樹文化」の共生プロジェクト	本州の主要な繁殖地の一つである松川町において、希少な渡り鳥アカモズの保全を、果樹文化や里山環境と両立させながら進め、地域内外の協働を広げる事業である。 令和8年度は、保全方針を関係機関と連携して公表し、来訪者へのマナー周知や地域の理解促進を進める。また、小中学校の総合学習や地区公民館での学習会、観察学習会、清掃活動、昆虫採集学習会、報告会などを実施し、子どもから大人までが保全に関われる学びと参加の機会をつくる。さらに、人工孵化個体の順化計画への協力（ゲージ管理・給餌等）や、住民の主体性を生かした「見守り隊」づくりを進め、継続的な保全体制の基盤を整える。長野県アカモズ保全研究グループ、人間環境大学、豊橋総合動植物園、地域住民、県・環境省等と連携して実施する。	3,938	1,288	1,288	
11	高森町	高森町 信州やまなみ国スポ・カウントダウン・フェス ～あと2年!みんなで創るキックオフ～(仮称)	令和10年度(2028年)に高森町で開催される国民スポーツ大会(国スポ)に向け、町内外へ開催を周知し、観覧者・運営ボランティア等の参加者を増やすための2年前イベントを実施する。カヌー・ビーチバレーボールの魅力伝えるアスリートトークセッションを開催するとともに、町大会オリジナルロゴ投票、大会ポスターコンクール、カウントダウンボード披露などの参加型企画を行い、町民が大会を「自分ごと」として捉えるきっかけをつくる。	1,121	836	836	
12	一般社団法人阿智村全村博物館協会	阿智村全村博物館地域資源活用事業	阿智村全村博物館構想のもと、古民家「つぼや」を拠点に、地域の歴史・暮らしを学び、体験し、広域的に発信することで、日中の滞在型コンテンツを強化し周遊観光の拡大につなげる。令和8年度は、古民家つぼや(1・2階)にエアコン計4台を設置し、夏季・冬季も様々なコンテンツを提供できる環境を整備する。また、阿智村出身の写真家・熊谷元一の作品を村外で展示できるよう、再デジタル化を含む高精細写真パネル55点を作成し、飯田市および東京都で展示を行う。さらに、妻籠・馬籠を含む恵那・木曾圏域と連携し、回遊ルート等を分かりやすく伝えるマップパンフとWebページを作成して情報発信を強化する。これらを組み合わせ、つぼやへの誘客と滞在満足度の向上、広域周遊の形成を目指す。	4,900	3,848	3,848	8_コミュニティビジネスによる地域の課題解決
13	浪合史跡保存会	浪合の史跡伝承事業	人口減少と高齢化により不足している史跡案内ガイドを確保し、案内内容の質と統一性を高めるため、史跡案内ガイドの募集・育成と、ガイドブック/マニュアル等の整備を行う。令和8年度は、浪合地区の史跡を案内するためのガイドブックとマニュアルを作成し、尹良親王に関する講演内容を冊子にまとめる。地域住民を対象に募集を行い、マニュアル等を活用し、研修や説明研修等(計4回)を通じてガイドを5名を育成し、質疑応答も含めて対応できるよう認定する。これにより、ガイドの増員と案内レベルの標準化を図り、来訪者や小学生への伝承を継続できる体制を整える。	739	554	554	
14	富田区	富田焼陶芸場整備・体験推進事業(富田焼で富田を元気に)	富田焼の技術と文化を次世代へ継承し、体験の受入を拡大するため、陶芸場の安全性・使いやすさを高める整備と、体験講座の実施を行う。作業場の段差解消や動線見直し(囲炉裏撤去・洗い場移設)、作品置き場用棚の増設により、粘土運搬等の危険を減らし、児童・高齢者を含む多様な参加者が作業しやすい環境を整える。あわせて、温度管理が容易で安全性の高い電気窯を導入し、電動ロクロを増設して複数人が同時に制作できる体制を整備する。改修した拠点を活用して若年層や初心者を対象とした体験講座を開催し、担い手育成と地域の文化継承につなげる。	4,420	2,948	2,948	
15	天龍村	ドローンにおける緊急時の輸送ルート確保事業	災害時に道路が寸断され孤立しやすい集落へ、医薬品等の緊急物資を迅速に届けるため、平時からドローン航路を整備し、運用体制づくりと住民への防災啓発を行う。令和8年度は村内7拠点を設定し、拠点間の航路(ルート)を整備したうえで、拠点間での実証運行(物資輸送)を実施する。あわせて、報告会・ワークショップを開催し、ドローン輸送で可能になることを住民と共有し、防災意識の向上と備えの促進につなげる(小中学校の防災訓練と連携した実施も検討)。	4,980	3,984	3,984	5_ドローンやロボット・AI等の先端技術を活用した地域の防災力強化や持続性向上
16	南信州環境メッセ2025実行委員会	2050ゼロカーボン普及啓発事業	2050ゼロカーボンに向け、住民や事業者が具体的な取組を学び行動につなげるきっかけをつくるため、南信州地域の団体・企業等が連携して「南信州環境メッセ2026(見本市)」を開催する。11月に飯田市座光寺エス・バードで開催し、展示・紹介を通じてゼロカーボンに向けた実践例を分かりやすく周知する。あわせて、新たなテーマとして「ウッドチェンジ」(プラスチック等から木材・木製品への転換)を位置付け、木工業者等の出展募集や特設展示に加え、木工ワークショップを同時開催することで、新たな来場者層の掘り起こしと来場者増を目指す。	6,177	4,941	4,941	10_ゼロカーボンの取組
17	飯田脱炭素社会推進協議会	デジタル地球儀「スフィア」で学ぶ気候変動教育事業	気候変動を「自分ごと」として捉える若年層の行動変容を促すため、デジタル地球儀「スフィア」を活用した体験型の気候変動教育を実施する。飯田市内小学校での出前講座(年度内5回)を行うとともに、りんご並木歩行者天国関連イベントやTASKIサミット、南信州環境メッセ等の会場で体験講座を実施し、幅広い層に学習機会を提供する。あわせて、既に同様の教育を実施している団体等と連携し、講座の質の向上と実施機会の拡大を図る。	1,721	1,291	1,291	10_ゼロカーボンの取組
18	特定非営利活動法人国際りんご・シードル振興会	『南信州シードル』プラットフォーム構築事業(第三期)	地域ブランド「南信州シードル」の信頼性・認知度・流通を強化し、リンゴ生産とシードル産業の持続的成長、ならびに飲食・観光等の地域資源との連携による経済波及を拡大するため、広域の関係者が参画するプラットフォームを強化する。令和8年度(第三期)は、事業戦略(信頼・認知・流通)と組織戦略を明文化するためのブランディング検討会議を開催し、共通ロゴの制作・認証制度の試行を進める。あわせて、道の駅等での試飲販売イベント「あつまれシードルの谷」の開催、飯田市の焼肉ブランドとの連携プロモーション、秋季のSNS発信用素材について専門家助言の元での撮影による発信力強化を行う。さらに、昼神温泉郷を対象に、宿泊・飲食等の事業者向け人材育成セミナーを実施し、周遊観光と流通拡大につなげる。	2,973	2,345	2,345	4_地域内外の人々の交流拠点の設置・活用や地域の受け入れ環境の向上
19	山本地域づくり委員会	杵原学校魅力発信ブースト事業	杵原学校を核に、山本地区の交流・関係人口づくりを強化し、地域活動の再活性化と外部への発信力向上を図るため、桜まつりの“おもてなし”改革と、水引文化の発信拠点化を一体で進める。令和8年度は、桜の最盛期の1週間を中心に校舎開放や夜桜コンサート、抹茶接待等を住民主体で実施し、来訪者の満足度向上と回遊促進につなげる。あわせて、展示ケースを整備し、飯田市の伝統産業である水引工芸作品の常設展示を拡充するとともに、水引職人を講師とした研修会により地元講師を育成し、体験教室を試行する。これにより、杵原学校の新たな魅力を形成し、将来的な体験教育旅行等の受入れにつなげる。	1,489	1,123	1,123	4_地域内外の人々の交流拠点の設置・活用や地域の受け入れ環境の向上

令和8年度 地域発 元気づくり支援金【南信州地域】事業一覧表

単位：千円

番号	申請者	事業名	事業内容 (主な用途、①：ソフト事業、②：ハード事業)	総事業費	要望額	支援金 内定額	重点支援 対象事業 区分別
20	伊那路・木曾路広域観光連携会議	市民協働による持続可能な観光コンテンツ開発・プロモーション	伊那路・木曾路（上伊那・南信州・木曾）の三地域が連携し、住民協働によるサステナブルツーリズム（持続可能な観光）のコンテンツ造成とプロモーションを強化する。 令和8年度は、住民協業で開発したインバウンド向けコンテンツを、国際商談会VJTM2026で三地区合同でプロモーションし、取引創出を図る。また、広域ガイド組織化を見据え、住民・経験者等を対象に地域密着型ガイド研修会を年度終盤に実施する。さらに、三地域の観光案内所の実務者交流を通じて広域連絡網を整備し、三地域共通パンフレットを作成して旅ナカ情報提供を強化する。あわせて、三地域プラットフォームWebの訴求力を高めるプロモーションビデオを制作・公開し、旅前の誘客を強化する。 ①観光見本市出展・商談運営経費（VJTM等の出展料、マッチング・通訳、旅費・宿泊等）、住民・ガイド研修講師謝金、広域パンフ制作費、プロモーション動画制作費等	3,201	2,561	2,561	8_コミュニティビジネスによる地域の課題解決
21	株式会社 阿智屋神観光局	星の村 七タまつりプロジェクト	放置竹林の拡大（竹害）という地域課題に対し、竹を資源として活用する「竹あかり」を地域連携で制作し、屋神温泉の夏季観光コンテンツ「星の村七タまつり」として展開することで、交流人口の増加と地域産業の活性化につなげる。 令和8年度は、阿智村役場・旅館組合青年部・地域団体・教育機関等と連携し、ワークショップ等により竹あかりを制作するとともに、屋神温泉街や宿泊施設等へ設置・展示し、回遊促進と滞在満足度の向上を図る。あわせて、チラシ・ポスター・特設Web等で広報を強化し、将来的な自走運営を見据えて一部有料展示エリアの試行も検討する。 ①竹あかり制作・演出関連費（制作・設置・展示一式など） ②プロモーション・広報制作費（チラシ／ポスター／HP等） ③機材購入費（LEDライト等）、電気設備工事費（設置に伴う電源・配線等）	7,238	5,680	5,000	8_コミュニティビジネスによる地域の課題解決
22	株式会社 阿智屋神観光局	撮影コンテンツ環境整備事業	「写真×旅」をテーマに、阿智村の星空だけでなく昼間の自然景観・暮らしの風景を撮影・発信できる受入環境を整備し、屋神温泉に偏りがちな観光の周遊を村内全域へ広げる。 村内の撮影スポットに案内看板（自立式4本）を設置し、撮影例・QRコード等で特設ページへ誘導する導線を整備する。あわせて、撮影スポットに特化した冊子型マップや「写真×旅」特設ページを作成し、WEB型フォトコンテストを実施する。さらに、季節の異なる時期に撮影ツアーを行い、インフルエンサー等の発信力も活用して、撮影→発信→来訪の循環をつくる。 ①フォトコンテスト運営費、撮影ツアー実施費、「写真×旅」特設ページ制作費、村内撮影スポットマップ制作費、プロモーション委託費、知用チラシ制作費 ②撮影スポット案内看板製作・設置費	4,280	3,420	3,420	4_地域内外の人々の交流拠点の設置・活用や地域の受け入れ環境の向上
23	売木村	オールフィールドうらぎ～all field URUGI～	観光事業者間の連携不足と、常時体験コンテンツや観光情報拠点が不足している課題を解消するため、売木村全域を「フィールド」として周遊・体験を促す取組を実施する。 令和8年度は、観光協会的組織の再構築に向け、関係者ヒアリングと観光事業者の検討委員会を開催する。また、村内観光施設・イベントを巡るスタンプラリーを実施し、応募方式を「スタンプ数」に改めて利用促進を図るとともに、レンタサイクルの3コース詳細を掲載した冊子型ガイドブックを作成する。さらに、野鳥・草花・星空観察、米づくり、ものづくり等の体験型ワークショップを月1回程度開催し、「観光+学び」の滞在型コンテンツを強化する。 ①ポスター・スタンプ台紙・ガイドブック等の作成費、スタンプラリー運営関連経費、ワークショップ開催費 ②交流・情報発信拠点（コンテナハウス）整備費	3,359	2,552	526	4_地域内外の人々の交流拠点の設置・活用や地域の受け入れ環境の向上
24	大鹿村	未来へつなぐサイクリングの輪(E-Bike及びキッズバイク購入によるサイクルツーリズム推進事業)	大鹿村の地形・森林資源を生かしたサイクルツーリズムを、観光客中心の一過性利用から、地域住民・事業者が主体的に関わる持続的な取組へ広げるため、体験機会の拡充と受入体制の整備を行う。 令和8年度は、(1)子ども向け自転車教室を定期開催し、自転車の楽しさと安全な操作を学ぶ機会をつくる。(2)大西公園に初心者向けマウンテンバイクトレイルを整備し、地域参加型で造成を進める。(3)道の駅を拠点に体験型観光プログラムの造成と受付機能の整備を行い、地域住民がガイドとして参画する仕組みを構築する。(4)広域周遊ツアー（秋葉古道等）に向けたモニターツアーを実施し、アンケートで改善点を整理する。(5)TOJ開催機会を活用し、キッズ教室等で地域内の機運を高める。 ②E-Bike（電動アシスト自転車）購入費、キッズバイク購入費	1,771	1,180	1,180	
25	伊那谷つなぐ実プロジェクト	新たなつながりによる担い手確保の取組	果樹の収穫期における人手不足と、障がい福祉分野等で「移動・体力」が障壁となる就労機会の不足を同時に解決するため、遠隔操作技術を活用した「遠隔収穫オペレーター」モデルを構築する。 ドローン収穫ロボット（ロボットアーム）を活用し、在宅ワーカーや外出困難な就労支援人材を対象に、地元果樹農家の協力の下で研修・実地に近い遠隔操作を計4回実施する。あわせて、参加者・農家の意見をワークショップで抽出し、作業コストや機械リース料等を可視化して、松川町での支援体制を含む事業化（将来的な組合化等）の検証をし、シンポジウムにて事業の説明や結果について広く周知する。 ①補助員謝金（研修・実証サポート人材）、広報・PR経費、資料作成費、ロボットアーム・収穫ロボット等賃借料、施設使用料、保険料	2,852	2,139	2,139	
26	根羽村	里山キッチン・炭焼き窯設置による森林再生事業	里山の魅力向上と教育活動環境の充実を図るため、グリーンハウス森沢に「里山キッチン（石窯・かまど・炭窯）」を整備し、整備プロセス自体を技術伝承の体験コンテンツとして開放する。 職人指導のワークショップ形式で整備を行い（計6回）、炭窯は人力工程を中心に、石窯・かまどはレンガ積み・左官体験等を中心に実施する。整備後は、制作したキッチンを活用した実践ワークショップを2回開催し（計30名を誘客）、運用ノウハウを蓄積するとともに、里山利活用の担い手（里山教育コーディネーター）育成につなげる。 ①里山キッチンの原材料費、整備ワークショップ運営費、モニタリングツアー実施費 ②里山キッチン（石窯・かまど・炭焼き窯）整備費	3,366	2,567	2,567	4_地域内外の人々の交流拠点の設置・活用や地域の受け入れ環境の向上
27	南信州伝統野菜協議会	「南信州ファーマーズマーケット」事業	信州の伝統野菜の認知度向上と消費拡大を通じて、生産者の所得確保と若い担い手参入を促し、在来品種の種を守ることを目的に、伝統野菜の販売・PRイベント「南信州ファーマーズマーケット」を開催する。 令和8年度は、飯伊地区の複数会場で、伝統野菜生産者による販売と、飲食店等のキッチンカーによる伝統野菜メニューの提供を行う。あわせて、高校・大学等と連携し、栽培実習やレシピ開発、文化祭出店等を通じて食文化の継承と次世代育成につなげる。 ①イベント運営委託費、広報費（チラシ・ポスター等）、ノベルティ制作（バック、シール）	891	712	712	8_コミュニティビジネスによる地域の課題解決
28	竹林活用プロジェクト CHIKURIN	竹林整備で伐採した竹資源を活用した地域振興事業	放置竹林の整備により竹害（農地被害、土砂災害リスク、景観悪化等）を抑制し、伐採竹を資源として活用することで地域活性化と環境保全を同時に進める。 令和8年度は、放置竹林の整備活動とその普及を行う。また伐採した竹を活用して、竹破砕機による竹チップ製造、無煙炭化器による竹炭製造を行い、肥料として販売・活用する。あわせて幼竹を活用したメンマ加工、地域の伝統野菜（源助かぶ菜）の栽培・漬物加工・販売を進め、地域特産品としてのブランド化を図る。さらに、地域住民の参加型作業（加工・体験）や、保育園・学校給食への食材提供、障がい者施設との農産連携を通じて、地域の食文化継承と担い手の裾野拡大につなげる。 ①講師謝金、施設使用料、広告費、土壌検査費、事務経費 ②竹粉砕機購入費	1,998	1,173	1,173	8_コミュニティビジネスによる地域の課題解決

令和8年度 地域発 元気づくり支援金【南信州地域】事業一覧表

単位：千円

番号	申請者	事業名	事業内容 (主な用途、①：ソフト事業、②：ハード事業)	総事業費	要望額	支援金 内定額	重点支援 対象事業 区分別
29	南信州焼肉の まち協議会	焼肉文化の魅力発 信による南信州地域 の振興事業	南信州の焼肉文化を差別化コンテンツとして磨き上げ、地域内外への認知拡大と観光誘導、将来的な自走財源の確保につなげるため、(1)動画制作・SNS発信、(2)イベント開催を一体で実施する。 令和8年度は、南信州の焼肉店・焼肉文化の魅力を紹介する動画を制作し、複数SNSで発信するとともに、制作過程も発信するプロセスエコノミー型の手法を取り入れてファン獲得と収益導線づくりを図る。あわせて「第2回 南信州 日本一の焼肉天国in飯田」(11/29、通り町・りんご並木)を開催し、出前焼肉やステージ企画、出店等により地域内外へ焼肉文化を発信する。 ①動画制作・発信に係る経費：撮影・編集・SNS運用等、イベント運営に係る経費	6,906	5,020	5,000	
30	飯田職業安定 協会	飯田下伊那合同企 業説明会 in 名古屋	人口減少・少子化により地域産業の担い手確保が困難となる中、進学等で地域外に居住する学生へ効果的に情報発信し、Uターン就職を促進するため、名古屋市で「飯田下伊那合同企業説明会」を開催する。最大35社が出展し、令和10年4月就職予定の高等教育機関学生を主対象として、企業情報提供・対話の機会を創出する。専用Webサイト、大学訪問、SNS(Instagram等)やラジオCM等による広報を強化し、地域の魅力と企業情報を一体で発信する。加えて、ガイドブック配布やインターンシップ参加状況調査を行い、事業の定着と改善につなげる。 ①会場費、運営委託費、広告宣伝費(HP、SNS、チラシ、ポスター等)、消耗品費等	5,224	1,724	1,724	
31	しんきん若手 経営者の会	地域企業と学生の交 流による地域の未来 創造事業	進学等で地域外へ転出した若者が地元に戻りにくい課題に対し、学生が地域企業・若手経営者・仕事に触れる機会を拡充し、将来の就職先として地域企業を検討する選択肢を増やす。 具体的には、(1)会員経営者が講師となる「出前授業」を教育委員会・学校と連携して実施し、講師登録数の拡充と実施回数の増加を図る。(2)学生が企業展示・体験ブース等で仕事を知り体験できる「SYMSフェスティバル」(飯田市エス・バード)を開催し、体験ブースの増設や高校生以上の運営参画により、学生と企業の接点を拡大する。チラシ・パンフ・Web・SNS・新聞等で周知し、公共交通利用促進等も併せて検討する。 ①会場費、広告宣伝費	1,638	1,228	1,228	
32	ねやねや天竜 峡mom smile 部	南信州ママのやっ てみようプロジェクト	女性が妊娠・出産・育児期に社会との接点作りが難しく、挑戦の機会が限定されやすい課題に対し、南信州の女性が小さく始められるビジネス(目安：月3万円規模)を学び、実践する機会を提供する。 令和8年度は、諏訪の合同会社chiokoが実施する「小商いヤツミレバ!キャンプ」企画を導入し、月1回・半年間の全6回講座を実施する。講座ではドリームマップ作成、アイデアセッション、プレゼン等を行い、最終的に地域イベントへの出店機会を設け、収益を得る実践につなげる。併せて、卒業生・受講生向けフォローアップ講座(SNS・動画・開業・確定申告等)を開催し、継続的な挑戦を支える広域コミュニティを形成する。 ①委託費(ビジネス講座運営一式)、フォローアップ講座委託費動画、広告宣伝費、会場費	3,296	2,636	2,636	2_女性リー ダーの増 加・定着 のための意識 改革や育 成
33	一般社団法人 暮らしroom's	多様な生き方・暮ら し方・働き方でウェ ルビーイングな長 野を	若年女性の県外流出の背景にある固定的性別役割分担意識やジェンダーギャップ、ロールモデル不足等の課題に対応するため、女性が多様な生き方・働き方を選択できるための「学び・つながり・相談」の機会を県内複数地域で提供する。 令和8年度は、(1)固定的役割にとらわれない生き方を実践する話題提供者による座談会とワークショップを6地区で開催し、内容をnote等で発信する。(2)自己理解を起点に「自分に合ったリーダー像」を再定義するストレンジスファインダー研修(ハイブリッド)を実施する。(3)助産師等の専門職による相談窓口を県内各地で継続開催し、女性の健康課題を安心して話せる場とセルフケア・受診目安の情報提供を行う。 ①講師謝礼(座談会・相談窓口・研修会)、会場費(座談会、研修会、相談窓口)、広報制作費、広報費・SNS広告費、オンライン配信関連費、消耗品費	2,298	1,632	1,632	2_女性リー ダーの増 加・定着 のための意識 改革や育 成
34	JR飯田線活 性化期成同盟 会	飯田線で魅力再発 見秋の溪谷と遠山 郷の旅	沿線人口減少により利用者が長期的に減少しているJR飯田線について、観光目的での利用機会を創出し、地域公共交通の維持・確保につなげるため、飯田線利用を条件とした着地型観光ツアーを実施する。 遠山郷を中心に、地域資源(和田城・龍淵寺等)や地元食材の昼食、体験プログラム(藤織り体験/下栗の里散策/デザート作り)のいずれかを組み合わせて地域の魅力を体感してもらう。参加記念等で再訪のきっかけづくりを行う。紙媒体に加え動画・SNS等で周知し、新規利用者層の掘り起こしを図る。また、集合場所の駅までJR飯田線を活用し集合することを条件とすることで、乗車してみる体験を誘導する。 ①運営委託費、交通費(貸切バス等)、体験プログラム実施費、広報・PR経費(チラシ、動画、SNS等)等	927	658	658	7_地域公共 交通の維 持・確保
35	売木村	参加型滞在拠点創 出事業	担い手不足に対応するため、関係人口・二地域居住者が地域の一員として継続的に関わり、将来的に担い手として活躍できる環境づくりを進める。 令和8年度は、都市部での「対話・構想の場」(売木未来デザインオープンラボ：全4回)と、売木村での「体験・実践の場」(フィールドプログラム：全3回)を連動させ、空き家を活用した滞在拠点(ハード)に加えて、関わり方・サービス(ソフト)や受入・運営の仕組み(制度等)を実現可能な形に整理しながら、その過程を関係人口獲得のきっかけにする。専門性が異なる領域は外部事業者と協業(委託)し、議論の整理・提言化を行う。オンラインコミュニティ等で情報共有し、次年度以降の実装につながる計画案・提言として取りまとめ、村へ提案する。 ①都市部プログラムの企画・実施委託費、現地フィールドプログラム企画・実施委託費	4,900	3,920	3,920	4_地域内外 の人々の 交流拠点 の設置・活 用や地域 の受け入れ 環境の向 上